

平成 19 年 11 月 8 日

児玉清さんを講師に招いて読書講演会を開催

11月8日に俳優の児玉清さんを招いて読書講演会を開催しました。

これは文部科学省が創設した「子ども読書の街」のモデル指定を受けて、大子町「子ども読書の街」推進委員会が企画した事業で、会場の中央公民館には400人を超える町民が詰め掛けました。

児玉さんはテレビの書評番組に出演者しており、大子町が取り組んでいる家読(うちどく)の応援団長にも名乗りを上げています。

講演会は「本を読まない子どもたちの国に未来はない」と題して、世界各国の読書事情を紹介しながら「本で培うことのできる他人を思いやる心、想像力で物事を育まなくてはならない」と力説し、思春期に会う本や読書の大切さを強調しました。この言葉を耳にした中学生1人ひとりの眼差しが印象的で、町の未来にひかりを感じました。

また、同講演会では、森のおはなし会によるペープサート「たべられたやまんば」と紙芝居「久慈川の赤い火」(大子町の民話)が公演され、会場内と来場した方々の心には拍手と感動が響きわたっていました。

